

朝日ヶ丘公民館だより

(公益財団法人) 千葉県教育振興財団
千葉県朝日ヶ丘公民館 12・1月号

TEL 043(272)4961 FAX 043(271)6994

✉ asahigaoka@ccllf.jp

「つどい まなび つなぐ ～地域の皆様に愛される 地域主体の公民館をめざして～」

「好きこそものの上手なれ」

館長 長谷部 芳彦

29連勝という新記録を達成したプロ棋士の藤井聡太さんの大局観を培ったのは将棋ソフトの活用だと言われています。ソフトの判断と自分の考えを突き合わせることで、その状況を客観視でき、序盤、中盤の進め方の弱点を修正してきたのだそうです。しかし、それだけならば、現在多くのプロ棋士たちも取り入れた研究方法（学習方法）だと言うのです。藤井聡太さんの強さの秘訣は、「詰め将棋」にあるそうです。多くのプロ棋士たちは、詰将棋が好きではなく、決められた指し数で王を追い詰めていく作業は嫌われるのだそうです。彼はこの詰め将棋が好きで、12年間、毎日欠かしたことがないというのです。10歳のころには、27手で王を追い詰める自作の詰め将棋を作成したそうです。詰め将棋で鍛え抜いて、終盤の力が加わって強くなったのだと言います。プロ棋士も避けたがる詰め将棋が楽しいからと続ける藤井聡太さん。「好きこそものの上手なれ」とはこういうことなのだと感じました。また、わずか16歳と思えない、言葉遣い、会話のやりとり、たたくまいはどのように身に着けたのかと知りたくなります。その人間味、知性、爽やかさは将棋だけでは身に付くものではないだろうと思っていると、小学生のころすでに司馬遼太郎氏の竜馬がゆく全8巻を読破する力をもっていたり、無類の算数好きであったりすることでした。

朝日ヶ丘公民館文化祭の発表でのことです。そのご婦人は、独唱で一曲を歌い切りました。正確な音程や音量の大きさ、情感のこもった伸びやかで美しい歌声に聞き惚れました。発表が終わり、偶然にも私の隣にそのご婦人は座られ、「今年90歳になるのです」「今年でもう終わり」と話されました。私は驚きました。90歳で人を魅了する歌唱力を維持されることに。きっとこれまで、努力され続けたからこそ、今のこの「力」があるのだと思いました。「今年で終わり」の言葉は、もしかしたら、毎年そのつもりで精進されてきたからこそその思いから発せられたものかも知れないと思いました。と同時に、また来年も歌っている姿を是非とも見せていただきたいと心から願いました。

好きなものがありますか？好きなものに十分な時間をかけることができますか？好きなものが益々好きになったり、新たに好きなことが見つかったりしたら、きっとそれはご自身の宝物になることでしょう。

「学び」と「遊び」、どちらも大切なものです。続けるだけの価値のあるものに出会い、毎日続けられるもの、長年続けられるもの、そういうものをもっている人は、豊かな時間を過ごし、人生を豊かにし、その結果として魅力的な人が多い気がします。